



プログラム

■ S.ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第2番 ハ短調 作品18 ピアノ独奏:辻田 祐希

SERGEI RACHMANINOFF PIANO CONCERTO NO.2 IN C MINOR OP.18

■ A.ハチャトゥリアン:組曲「仮面舞踏会」

ARAM KHACHATURIAN MASQUERADE SUITE

■ I.ストラビンスキー:バレエ組曲「火の鳥」1919年版

IGOR STRAVINSKY THE FIREBIRD SUITE (1919 VERSION)

※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。
※学生券をご入場の際に学生証のご提示をお願いいたします。
※やむを得ず曲目、出演者を変更する場合がございます。

主催:一般社団法人 神戸フィルハーモニック協会

共催:公益財団法人 神戸市民文化振興財団

協力:神戸フィルハーモニック後援会

お問合せ:神戸コンサート協会 078-805-6351

魅せます！

美しいメロディーと神戸フィルサウンド

2021年6月26日。梅雨の真っ只中、どうか当日は快晴であって欲しいと切に願いつつ、神戸フィルは81回目の定期演奏会を開催します。

今回の定期演奏会は、オーケストラの曲の中でも特に印象的なメロディーが特徴な楽曲を3曲取り上げる事にしました。

昨今のコロナ禍で、演奏会に足を運ぶことはおろか、外出さえも規制される世の中ですが、やはり、オーケストラの醍醐味は生演奏ではないでしょうか。あの独特の空気感、そして音楽の色合いと音の圧力。どれをとっても配信ライブでは味わって頂けない大切な要素です。

そんなオーケストラの魅力を存分に味わって頂きたく、神戸フィルは、ホール内は可能な限りの感染対策を施し、団員も細心の注意を払い日常生活を送り演奏会に臨みます。皆さま、お越しになる際には物への接触を最低限にし、決して顔に触れずホールにいらしてください。着かれたら直ぐに手の消毒をなさっていただければと思います。安全に細心の注意を払われてお越しください。皆さまのご来場を心からお待ちしております。

神戸フィルハーモニック団員一同

次回演奏会予告

第82回定期演奏会

2021年11月13日(土) 14:30開演/13:45開場 神戸文化ホール

■出演 | トロンボーン独奏:村井 博之 指揮:朝比奈 千足

■曲目 | Z.コダーライ:ハンガリー民謡「孔雀」の主題による変奏曲

L.グレンダール:トロンボーン協奏曲

トロンボーン独奏:村井 博之

L.ヤナーチェク:シンフォニエッタ 予定

■入場料 | 一般前売2,500円(当日3,000円) 学生1,000円(前売、当日共)

■チケット発売場所 | (発売日 8月15日(日)10:00~)

■神戸文化ホールプレイガイド TEL 078-351-3349

■イープラス <http://eplus.jp>

■神戸コンサート協会 TEL 078-805-6351



神戸文化ホール

〒650-0017 神戸市中央区楠町4丁目2-2

辻田 祐希 YUKI TSUJITA

大阪府立夕陽丘高等学校音楽科を経て、東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻を卒業、同大学院修士課程を修了。ロシア音楽に魅了され、大学院在籍中はムソルグ斯基の「展覧会の絵」について研究をした。修了時にピアノ演奏優秀者に選出される。第1回宝塚ベガ学生ピアノコンクール第1位、併せて宝塚演奏家連盟特別賞受賞。第23回市川市文化振興財団新人演奏家コンクール優秀賞受賞。東京と大阪にてソロリサイタルを開催。オーケストラとモーツアルトのピアノ協奏曲第25番、ガーシュウィンのラプソディー・イン・ブルーを協演。オペラや歌曲、器楽の伴奏を数多く行い、各地で演奏活動を展開している。イタリアへの短期留学を重ねながらコレベティールの研鑽も積んでいる。これまでにピアノを真木利一、小出ひろみ、田辺緑、渡辺健二、有森博の各氏に、トイツリートをヘルムート・トイチュ、マルクス・ハドゥラの各氏に、オペラ伴奏を森島英子、レオナルド・カタラノットの各氏に師事。日本演奏連盟会員。聖徳大学音楽学部講師、神奈川県立相模原弥栄高等学校非常勤講師、昭和音楽大学講師。



朝比奈 千足 CHITARU ASAHINA



県立神戸高校を経て慶應義塾大学卒業後ただちに渡独。1971年、ベルリン国立高等音楽学校(現芸術大学)を卒業後、クラリネットリサイタルをベルリンで開催し、クラリネットの独奏者としてデビュー。帰国して1975年に大阪フィルハーモニー交響楽団の欧州演奏旅行にソリストとしてスイス、ドイツ、オランダなど11都市で協奏曲を演奏した。1976年に指揮研修のため再び渡独、ベルリン国立歌劇場の音楽監督フィットナーの指揮助手を務める。翌77年に帰国し、大阪フィルハーモニー交響楽団と東京都交響楽団を指揮して日本でデビューした後、全国各地において本格的な指揮活動を展開する。1979年に神戸市のオーケストラ設立計画に参画し、神戸フィルハーモニックの結団とともに音楽監督および常任指揮者に就任する。2009年に神戸市より文化賞を受ける。2015年、オーストラリア政府よりオーストラリア名誉勲章を授与される。

神戸フィルハーモニック KOBE PHILHARMONIC

神戸市民のオーケストラとして神戸市により設立された神戸フィルハーモニックは、1979年4月、朝比奈隆氏をはじめとする多くの文化人や実業家によって設立された「神戸市交響楽協会」を運営母体にその活動を開始した。オーディションによりプロ・アマ問わず腕利きのプレイヤーが集結、他に類を見ない新しいスタイルのオーケストラとして、1980年1月、神戸文化ホール大ホールにてデビューコンサートを実施。以来、年2回の定期演奏会、ニューオークションコンサートに加え、依頼演奏や小編成によるサロンコンサートなど、各地で精力的に演奏活動を展開している。また、創立当初から朝比奈千足が音楽監督兼常任指揮者を務め、一貫した音楽性と表現力で同団を牽引し、豊かな神戸フィルサウンドを創造し続けている。1995年、阪神淡路大震災後、同団や団員も被災者でありながら各地で慰問演奏を実施。2011年、東日本大震災発生後、復興への思いと感謝の意を込め、チャリティーコンサートを実施し、その収益金を東日本大震災被災地へ寄付。南三陸町歌津地区や南相馬市へ訪問演奏するなど現在もその活動を継続している。1997年、神戸市文化活動功労賞を受賞。2020年、創立40周年を迎えた同団は、「神戸市民のためのオーケストラ」として、上質で安価なクラシック音楽とオーケストラの魅力を全国に発信し続ける。

後援会ご入会のお願い

神戸フィルハーモニックの後援会にご入会いただき、神戸フィルを応援していただけませんか？
皆さまのご協力をお願いいたします。

年会費 6,000円(1口以上)



特典

- ①年2回の定期演奏会及び、ニューオークションコンサートへのご招待
- ②会員証の発行
- ③定期演奏会のプログラム、ホームページへのご芳名の記載

入会方法

右記のコードからお申込みください。
<http://www.kobephilharmonic.jp/kouenkai.htm>へアクセスの上、
お申込みフォームからご送信ください。



～新型コロナ追跡システムへの登録のお願い～

ご来場の皆さまへ新型コロナウイルス感染予防に対するお願い

①外出前に検温をしてください。体温が37.5度以上ある場合は、外出をお控えください。②神戸文化ホール館内は必ずマスク着用をお願いいたします。③座席確保のために開場前にお並びになりますと、エントランス等が「密」になります。お席は十分にございますので、開場前のご来館はお控えください。④来館時、ロビー等で「兵庫県新型コロナ追跡システム」への登録をお願いいたします。⑤飛沫感染予防の観点から、ロビーや客席での会話は極力お控えください。また、来館後はご着席いただき、開演までお静かにお待ちください。⑥飛沫感染予防観点から、終演後、出演者によるお見送等は行いません。楽屋訪問もお断りいたします。また、差入れ等のお預かりも致しかねます。悪しからず、ご理解くださいますようお願い申し上げます。⑦終演後の出待ち等はお控えください。

皆さまの新型コロナウイルス感染予防へのご協力を宜しくお願い申し上げます。

- 神戸市営地下鉄西神・山手線「大倉山駅」徒歩1分
- 神戸高速鉄道「高速神戸駅」徒歩8分 ●JR「神戸駅」徒歩10分
- 神戸市営地下鉄海岸線「ハーバーランド駅」徒歩12分

Happy・Friendly・Open-mind



神戸市街と音楽